



川から海へ、意識をつなぐ

『かめおかプラスチックごみゼロ宣言』



亀岡市長 桂川 孝裕



京阪神の大都市近郊にありながら 豊かな自然に恵まれた京都府亀岡市



京野菜の産地「京の台所」 亀岡

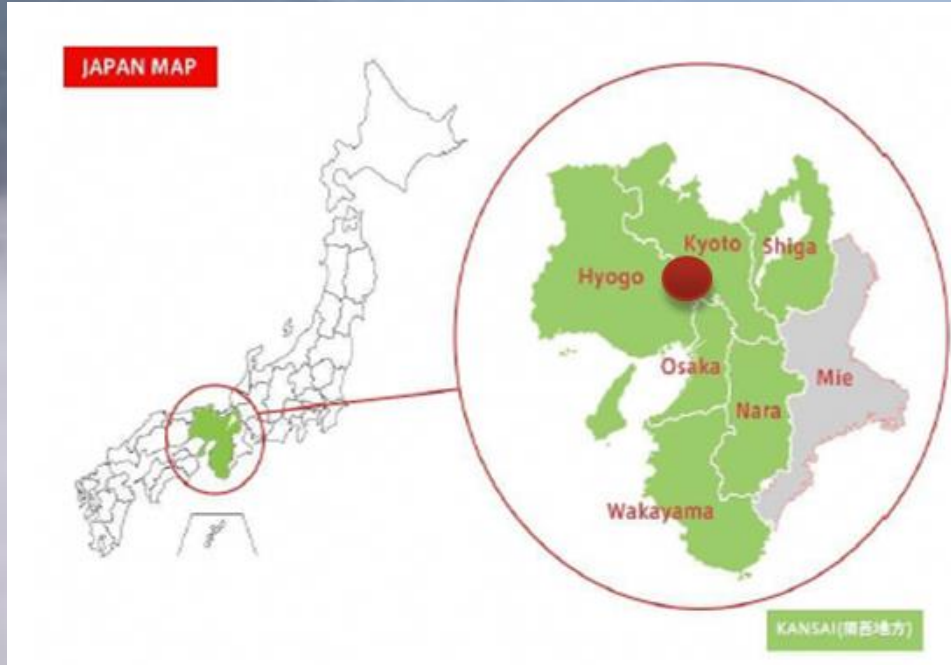


亀岡市の三大観光



～保津川下り
～トロッコ列車
～湯の花温泉

- ・京都市の西隣に位置し、JR京都駅から快速21分
高速道路網で大阪府・兵庫県と結ばれている利便性
の高い立地環境
- ・京都随一の穀倉地帯
- ・人口 87,604人（2021.10.1時点）



～亀岡のまちを包む霧～

大地の呼吸である霧は、京野菜をはじめ、質の高い農産物を育てている。



春



夏



秋

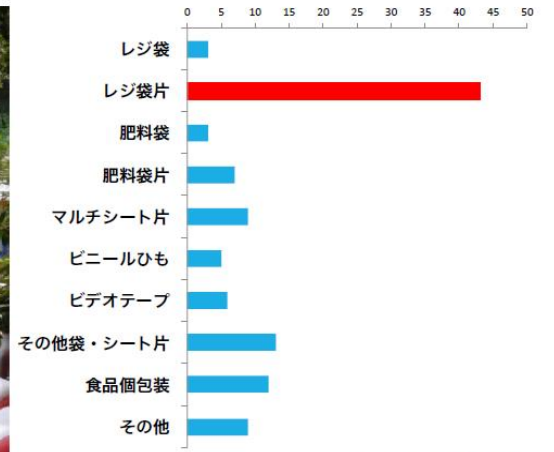


冬

保津川に漂着するプラスチックごみの状況



保津川に漂着するプラスチックごみの状況



2010.10.06 保津峡・清水



「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」に係る取り組み経過

1999年	亀岡青年会議所2020ビジョン特別委員会を設置 2020年の目指す都市像 「エコロジックミュージアムの創造」 世界に誇れる環境先進都市の実現 に決定する。
2000年	亀岡青年会議所に 環境委員会を設置 河川清掃活動の取り組みを始める。
2004年	保津川下りの船頭 さんによる清掃活動が始まる
2007年	保津川の環境保全に取り組む NPO法人プロジェクト保津川 が誕生(法人設立は2008年)
2012年	内陸部の自治体初 海ごみサミット2012亀岡保津川会議 開催
2013年	(みんなでつくろう) 川と海つながり共創プロジェクト 設立
2015年	亀岡市長選挙にて 「かめおか未来チャレンジビジョン」 で 環境先進都市を目指すビジョン を示す。
2018年3月	亀岡ゼロエミッション計画 を策定

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」に係る取り組み経過

2018年12月	「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信
2019年	亀岡市長選挙にて 「かめおか未来チャレンジビジョンⅡ」を発表 プラスチック製レジ袋の提供禁止条例の制定 エコウォーカー、不法投棄の抑制、ポイ捨て禁止条例 に取り組むビジョンを示す。
2019年	プラスチック製レジ袋の有料化 がスタート(亀岡市内)
2020年3月	亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例 制定
2020年7月	国のレジ袋有料化 がスタート
2021年1月	亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例 を施行

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 宣言文

深刻化する海洋プラスチック汚染は、魚や海鳥などの海の生態系にまで大きな影響を与え、地球規模の問題となっています。ここ亀岡でも、大量のペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみ問題が、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、そして観光にも大きな影響を与えているだけでなく、「市の魚アユモドキ」に代表される多様な川の生態系にも影響を及ぼすことが危惧されています。

この問題は、私たち一人ひとりの身近な問題として捉えていく必要があります。そして、私たちにできる身近な取組みを国内外の他都市とも連携し、湧き上がるような大きな流れを巻き起こしていかなければ解決できるものではありません。

今、世界では、使い捨てプラスチックごみの削減に向けた動きが加速しています。亀岡市は、平成24年に内陸部の自治体で初めてとなる海ごみサミットを開催し「母なる川保津川」から海ごみをなくす取組みを発信してきました。こうした取組みをさらに深化させ、みなさんとともに2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。

そして、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現します。

2018年12月13日

亀岡市長 桂川孝裕 亀岡市議会議長 湊泰孝

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 宣言文

【目指す目標】

- 1 市内の店舗でのプラスチック製レジ袋有料化を皮切りにプラスチック製レジ袋 禁止に踏み切り、エコバック持参率100%を目指す取組みを進めます。
- 2 「保津川から下流へ、そして海にプラスチックごみを流さない。」世界規模の海洋汚染(マイクロプラスチック)問題に立ち上がる意識のつながりを呼び掛けます。
- 3 当面発生するプラスチックごみについては100%回収し、持続可能な地域内資源循環を目指します。
- 4 使い捨てプラスチックの使用削減を広く呼びかけ、市内のイベントにおいてもリユース食器や再生可能な素材の食器を使用します。
- 5 市民や事業者の環境に配慮した取組みを積極的に支援し、世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上を目指します。

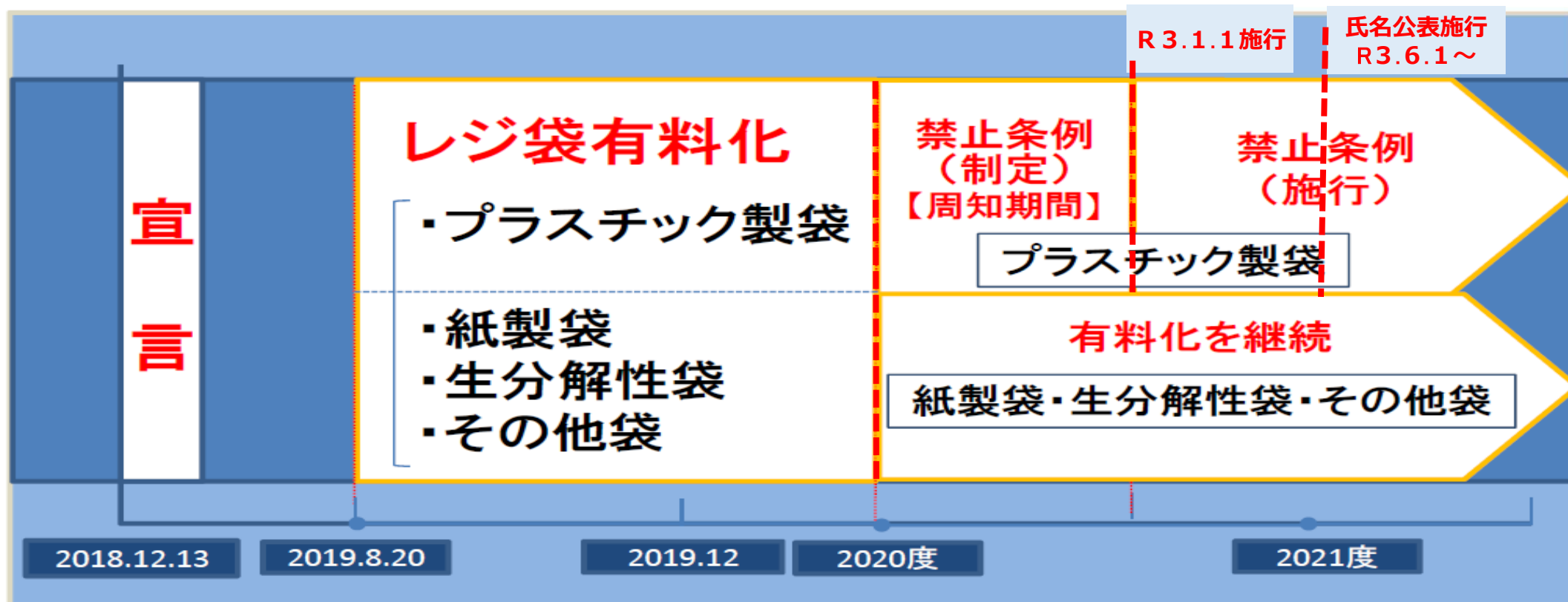


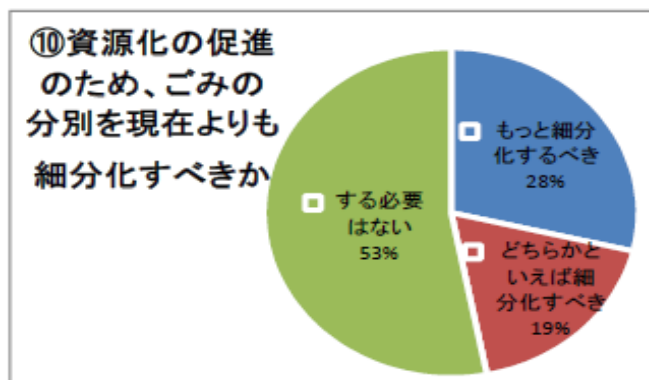
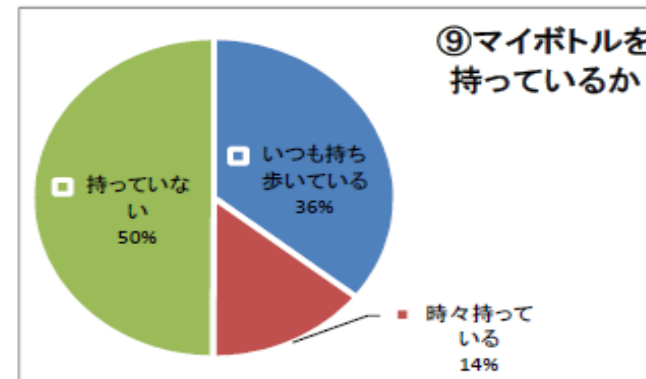
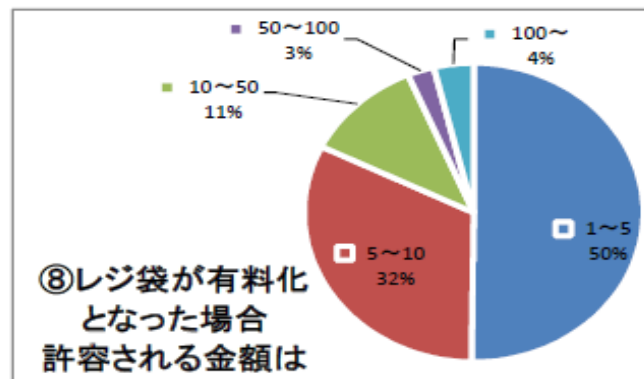
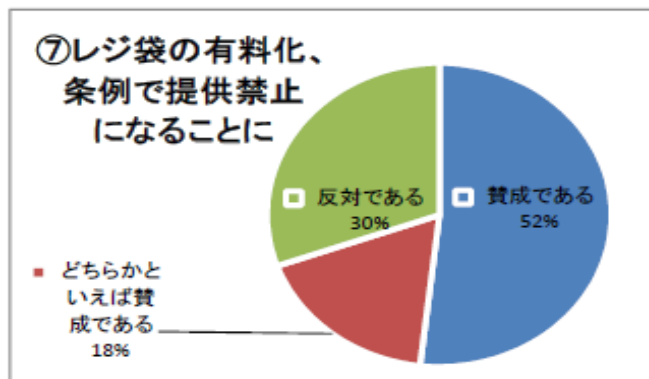
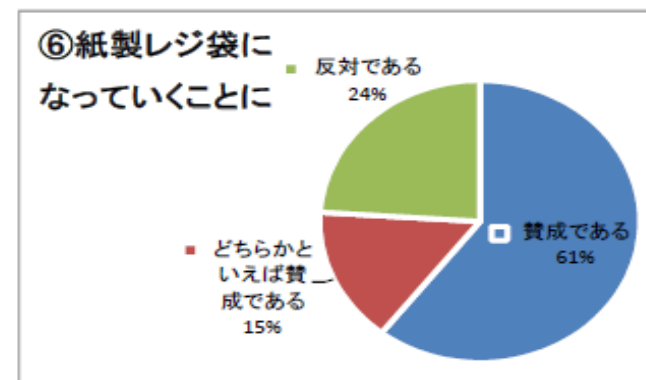
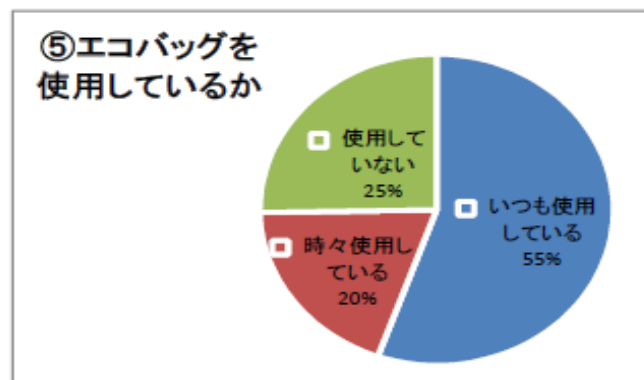
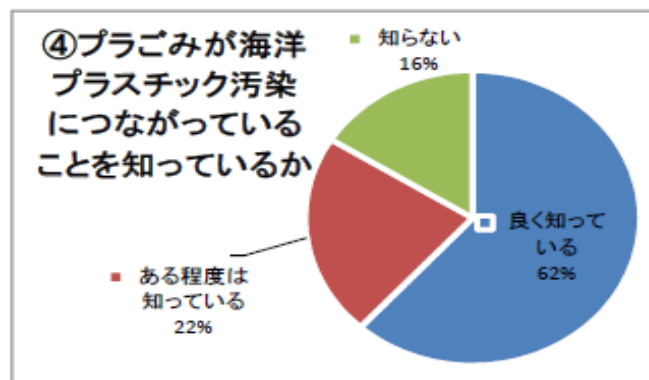
レジ袋の有料化 ～ そして提供禁止条例制定へ

- ▶2019年8月20日 レジ袋有料化スタート
- ▶2020年3月24日 亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止に関する条例制定
- ▶2021年1月 1日 同条例施行

【条例の概要】

- ・事業者がプラスチック製レジ袋(生分解性の袋を除く)を提供することを禁止
- ・生分解性の袋であっても無償で提供することを禁止
- ・違反者は、審査会の意見を聞いた上で氏名を公表





自治会集計

①年齢・性別	男性	女性	10代	0	30代	5	50代	87
	367	208	20代	4	40代	31	60代以上	437
②職業	会社員	自営業	学生	公務員	無職	その他		
	112	47	3	18	275	122		
③住まい	市内	市外						
	577	3						

2020. 1. 11現在

かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の第一歩 「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」による意識の変化

エコバッグ持参率・レジ袋枚数の状況



2019年7月比約 63万枚減少
2019年8月以降の削減枚数 1,300万枚以上

「環境×芸術」のコラボによるレジ袋削減に向けた取り組み



大空を飛んでいたパラグライダーが
その役目を終え、再びエコバッグとして
生まれ変わり、まちを飛び回る

KAMEOKA FLY BAG FLY BAG Project



パラグライダーの生地を
パッチワーク状に仕立てた
巨大エコバッグ



巨大エコバッグからオリジナルエコバッグをつくるワークショップの様子



水が海から粟の子
やがて前と山に降り
川を流れて海に着くまで
とどきながら前が自然の循環を
FLY BAGがための生み出します。

THEATRE PRODUCTS



啓発イベントから経済活動へと展開 HOZU BAG拠点施設の整備



拠点施設



作業場



集められた廃棄予定の
パラグライダー生地

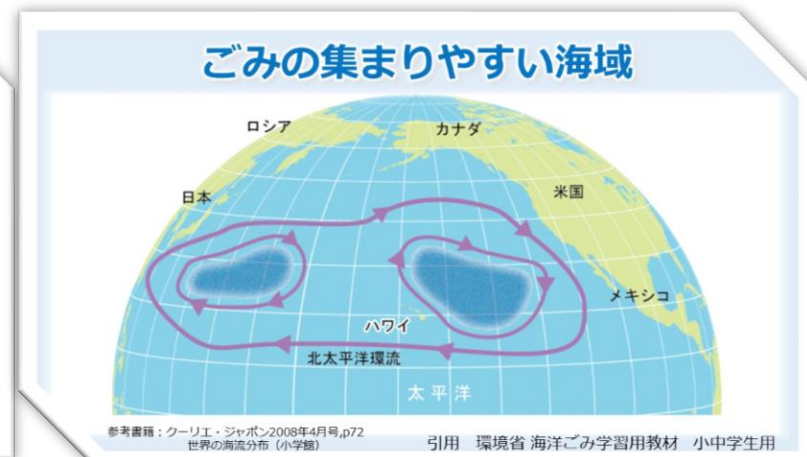
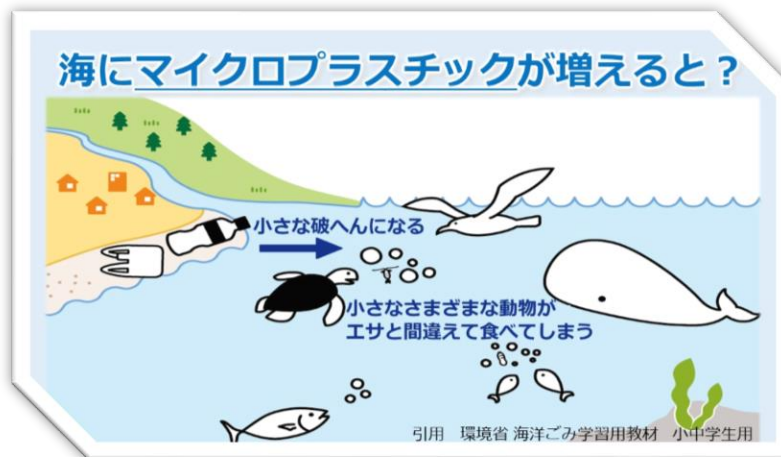


HOZUBAGとして銀座ロフトで販売スタート (2020.10~)

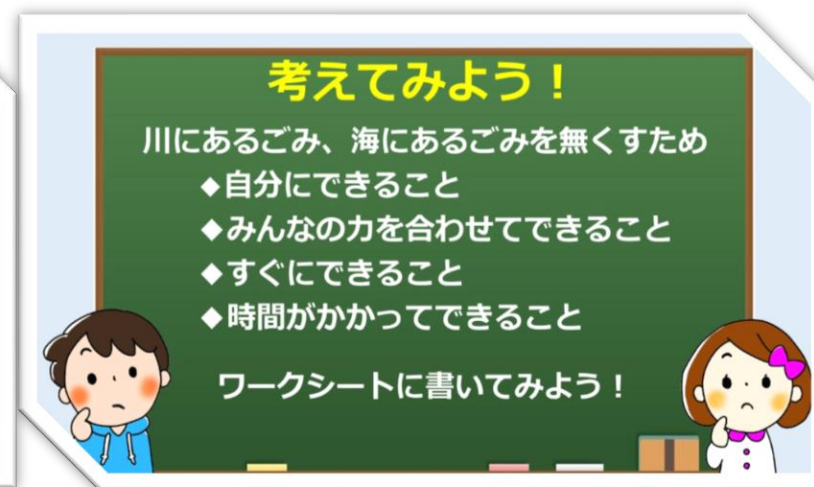
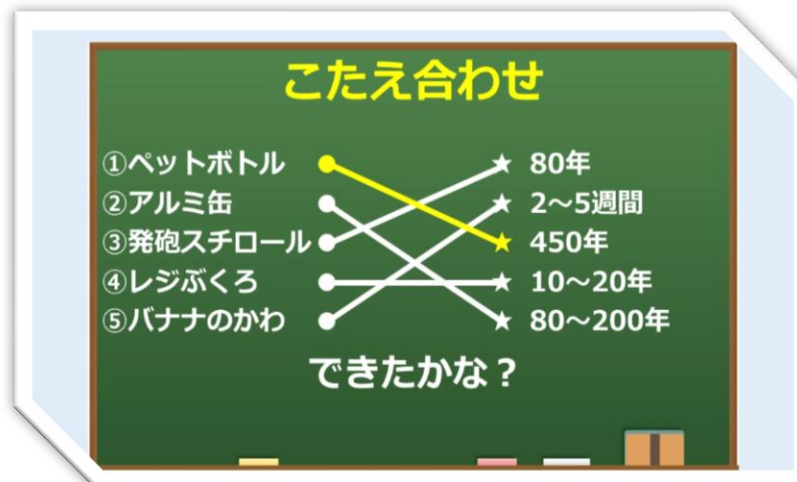


企業と連携した環境教育事業【ソフトバンク株】

■2019年10月、ソフトバンク株式会社との環境及び教育事業連携に関する協定を締結



海洋ごみ問題を題材にしたスクールテンプレートを亀岡から全国に発信



▶ Pepperを活用した環境教育プログラムの公開授業の様子

企業と連携した環境教育事業【(株)ユニクロ】

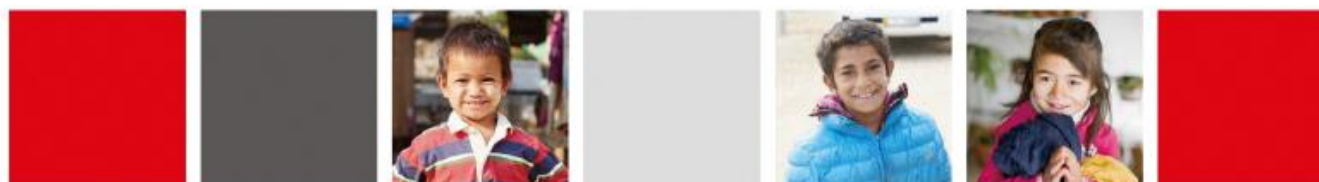
■2020年3月、ユニクロ亀岡店とエコバッグ等の持参とプラスチック製ショッピングバッグ廃止の取組みに関する協定を締結



2020.9.11 亀岡市立南桑中学校



2020年度 “届けよう、服のチカラ” プロジェクト



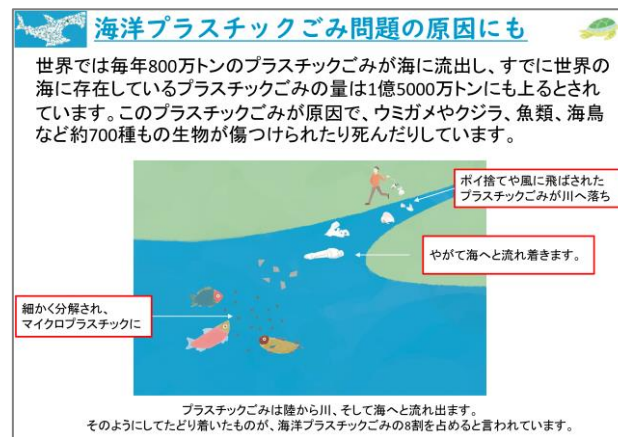
企業と連携した環境教育事業【BRITA japan(株)】

■2020年6月、BRITA Japan株式会社と包括連携協定を締結

- (1) 亀岡市が発信する使い捨てプラスチックごみゼロに関すること
- (2) マイボトルの普及によるペットボトル等の削減に関すること
- (3) 亀岡市の水道水及びBRITA japan(株)の浄水ボトルの利用促進を図り、環境、経済の両面から負荷を軽減する新しい生活習慣の提案に関すること
- (4) その他、世界に誇れる環境先進都市の実現を目指す取組みに関すること



●次世代の環境教育や新しいライフスタイルの提案・発信を目的に、未来を担う高校生向けに、環境をテーマにした教材を共同で開発



●2020年度から、環境教材を活用し、亀岡市内の高校2校で、環境学習を実施



リバーフレンドリーレストランプロジェクト (2021年3月15日~)



- 環境に配慮した取組みを実践する市内飲食店等を募集し、市内外に情報発信
⇒さらなる誘客につなげる
- 環境先進都市・亀岡市のブランドイメージ向上と地域経済の活性化を目指す

【River Friendly Restaurants 認定基準】

- 次の認定基準をすべて満たす
 - ・発泡スチロール容器は使用しない
 - ・ごみの減量と適切なリサイクルに取り組む
 - ・店舗内での商品の提供には、使い捨て食器等を使用しない
 - ・テイクアウト時の紙袋やカトラリー類は、顧客の要望があった場合にのみ提供する
 - ・紙ストローは顧客が希望した場合にのみ提供する
 - ・無料でマイボトルに給水できる
- 「ペットボトル製品を販売しない」などのオプション基準を2以上満たす



- エコ・スポンサー料（登録料）として3,000円負担
⇒こども達の環境学習活動などに活用
⇒次世代の育成

登録店舗：13店
(2021年11月10日現在)

いつでもどこでも「亀岡のおいしい水」プロジェクト

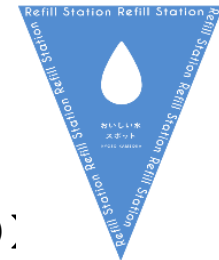
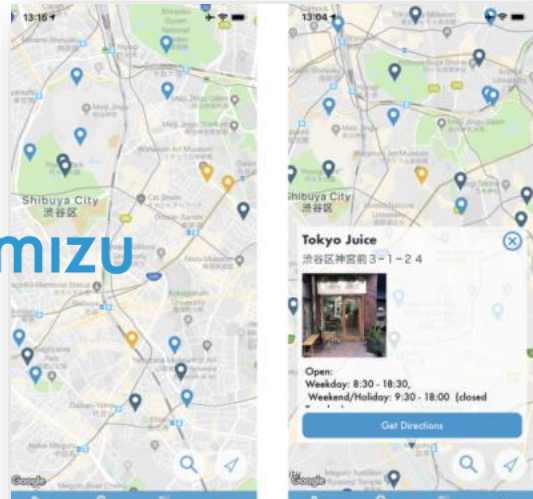
マイボトルの普及促進を目指し、一般社団法人Social Innovation Japanと「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定を締結（令和3年4月9日）」

【亀岡市の取り組み(抜粋)】

- ・マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置
- ・市内飲食店等に対する、給水スポット登録の呼びかけ など

【一般社団法人Social Innovation Japanが進めるSDGsに向けた取り組みや行動(抜粋)】

- ・mymizuによる、無料給水スポットの情報発信及び啓発／啓蒙活動
- ・mymizuアプリの給水トラッカー機能を活用した市民のボトル給水実践行動などの可視化
- ・mymizuチャレンジのコーディネート
- ・mymizuラーニングによる環境教育の支援 など



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定

ともに生きる
プラごみゼロ

亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り込む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境、経済・社会の三側面の統合的取組みの推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

一般社団法人Social Innovation Japanは、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取り組みを進めます。

【亀岡市の取り組み】

- マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置及びmymizu給水スポットへの登録
- 市内飲食店等に対する、無料給水スポットへの登録の幅広い呼びかけ及びmymizu給水スポットへの登録
- マイボトル持参の意識啓発及びマイボトルにどこでも給水できる新しいエコシステムが可能にする、よりサステイナブルなライフスタイルの提案
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組みの進展や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

【一般社団法人Social Innovation Japanが進めるSDGsに向けた取り組みや行動】

- mymizuによる、無料給水スポットの情報発信及び啓発／啓蒙活動
- mymizuアプリの給水トラッカー機能を活用した市民のボトル給水実践行動の可視化及びこの実践活動によるペットボトルとCO2の削減効果のデータ提供による可視化
- mymizuチャレンジのコーディネート
- mymizuラーニングによる環境教育の支援

※mymizuとは、一般社団法人Social Innovation Japanが運営する日本初無料給水プラットフォームとスマホアプリ

令和3年4月9日

一般社団法人Social Innovation Japan
代表理事 部長 ルイス ペン 敬

代表理事 会長 マクティア マロ オルベア

亀岡市長 程川 孝裕

市内公共施設7か所及びおいしい水スポット登録店53店舗（2021年11月10日現在）の情報をmymizuにより発信

いつでもどこでも「亀岡のおいしい水」プロジェクト

給水スポットの普及促進を目指し、ウォータースタンド(株)と「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を締結(令和3年6月3日)

【亀岡市の取り組み(抜粋)】

- ・マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置
- ・市内飲食店等に対する、給水スポット登録の呼びかけ など

【ウォータースタンド株式会社のSDGsに向けた取組】

- 亀岡市の実施する事業等への協力及びプラスチックごみの削減の推進
- 市民・事業者との連携によるプラスチックごみ削減及びプラスチック問題の解決に向けた取組への参加並びに知見及び技術等の提供
- 次世代に向けたマイボトル持参意識の醸成



小・中・義務教育学校25校に給水器を設置拡大 (R3)



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標 (SDGs) の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

ウォータースタンド株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- プラスチックごみ削減に向けた意識啓発
- マイボトル・マイバッグの普及促進及びペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用抑制に向けた取組の推進
- 市民・事業者との連携による使い捨てプラスチックごみ削減に向けた取組の推進
- 本協定に基づく取組の市内外への周知
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

【亀岡市教育委員会のSDGsに向けた取組】

- 環境学習の一環として、マイボトル・マイバッグ持参の取組を推進し、亀岡の子どもたちからプラスチックごみ削減の推進を発信

【ウォータースタンド株式会社のSDGsに向けた取組】

- 亀岡市の実施する事業等への協力及びプラスチックごみの削減の推進
- 市民・事業者との連携によるプラスチックごみ削減及びプラスチック問題の解決に向けた取組への参加並びに知見及び技術等の提供
- 次世代に向けたマイボトル持参意識の醸成

WATER STAND

令和3年6月3日

ウォータースタンド株式会社
代表取締役

本多 均

亀岡市長

桂川 孝徳

亀岡市教育委員会
教育長

神先 宏彰



マイボトルの普及促進を目指し、(株)DESIGN WORKS ANCIENTと「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を締結(令和3年6月22日)

【亀岡市の取り組み(抜粋)】

- ・マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置
- ・市内飲食店等に対する、給水スポット登録の呼びかけ など

【株式会社DESIGN WORKS ANCIENTのSDGsに向けた取組】

- マイボトル普及に向けた意識啓発
- こども達に向けたスポーツ大会開催を通じてのマイボトル持参の意識啓発
- 末永くご愛用いただける修理可能な商品開発による、廃棄されるボトルの削減



ONLY THE NECESSARY
必要な分だけ

7,000本のマイボトル『ポケトル (S)』の提供を受け子育て支援等と連携したマイボトル普及啓発を推進



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標 (SDGs) の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

株式会社DESIGN WORKS ANCIENTは、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置及び給水スポットの情報発信
- 市内飲食店等に無料給水スポットとなることへの協力の呼びかけ及びその情報発信
- マイボトル持参の意識啓発及びマイボトルにどこでも給水できる新しいエコシステムが可能にする、よりサステナブルなライフスタイルの提案
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

【株式会社DESIGN WORKS ANCIENTのSDGsに向けた取組】

- マイボトル普及に向けた意識啓発
- こども達に向けたスポーツ大会開催を通じてのマイボトル持参の意識啓発
- 末永くご愛用いただける修理可能な商品開発による、廃棄されるボトルの削減
- 海洋プラスチックごみ削減に向けた、清掃活動の実施



令和3年6月22日

株式会社DESIGN WORKS ANCIENT
代表取締役

小林 裕介

亀岡市長

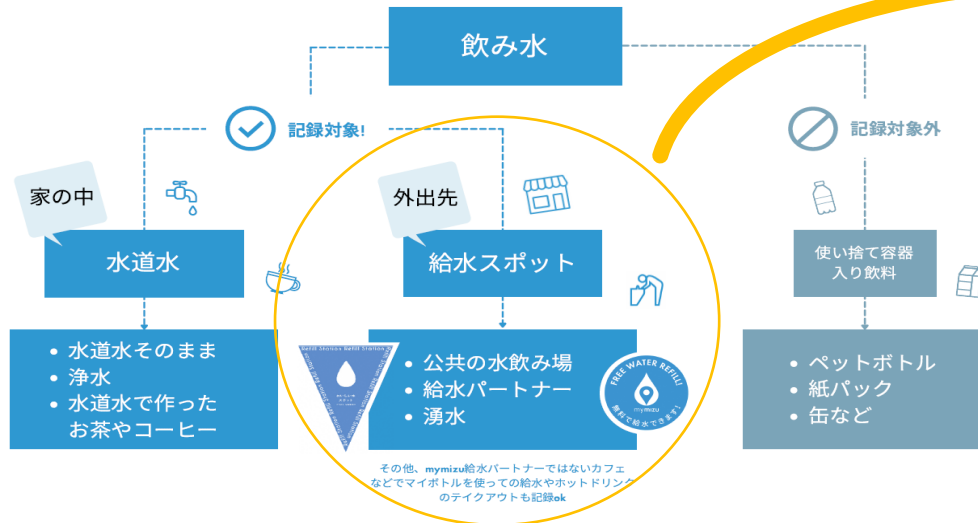
桂川 孝裕



BRITA japan株式会社×mymizu チャレンジin亀岡

10月1日～10月31日 約1,200人応募！

BRITA Japan x
mymizuチャレンジ
in 亀岡



マイボトル（ステンレスボトル）の資源化モデルの構築へ

マイボトルの普及促進を目指し、タイガー魔法瓶(株)と「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を締結(令和3年7月28日)

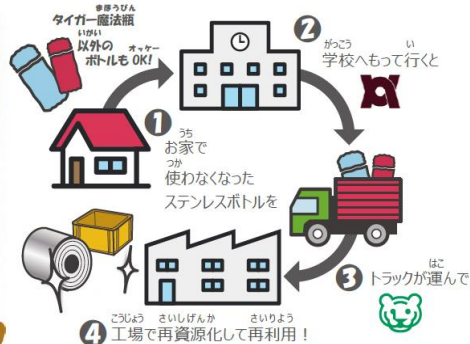
【亀岡市の取り組み(抜粋)】

- ・マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置
- ・市内飲食店等に対する、給水スポット登録の呼びかけ
- ・使用済みステンレスボトルの回収システムの構築 など

【タイガー魔法瓶株式会社のSDGsに向けた取組】

- 産官学民連携による新たなライフスタイルの実現
- 行政との共創による使用済みステンレスボトルの再資源化モデルの構築
- 循環型ビジネスにおけるリーダーシップ及び他地域への横展開や情報発信 など

NO・紛争鉱物 NO・フッ素コート NO・丸投げ生産 NO・プラスチックゴミ



・ペットボトルごみを減らそう!

・マイボトルを持ち歩こう!

・資源を有効活用しよう!

使用済みステンレスボトルが、リサイクルされて新しくステンレスやプラスチック製品に生まれ変わります。



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

タイガー魔法瓶株式会社は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- マイボトル対応の給水スポットの主要公共施設への設置及び給水スポットの情報発信
- 市内飲食店等に無料給水スポットとなることへの協力の呼びかけ及びその情報発信
- マイボトル持参の意識啓発及びマイボトルにどこでも給水できる新しいエコシステムが可能にする、よりサステナブルなライフスタイルの提案
- 使用済みステンレスボトルの回収システムの構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

【タイガー魔法瓶株式会社のSDGsに向けた取組】

- 産官学民連携による新たなライフスタイルの実現
 - ・ステンレスボトルを通じた循環型社会の実現
 - ・行政との共創による使用済みステンレスボトル（ステンレス材及び樹脂部材）の再資源化モデルの構築
 - ・小・中・高校・大学生に対するエシカル教育・環境教育の支援
 - ・マイボトル普及に向けた意識啓発
- 循環型ビジネスにおけるリーダーシップ、及び、他地域への横展開や情報発信
- 本取組から得られるマーケティングデータを活用した新規事業やサービスの創出



令和3年7月28日

タイガー魔法瓶株式会社
代表取締役社長 菊池嘉聡
亀岡市長 桂川孝裕



登録者数 1,063名 (2021.11.10現在)

◆エコウォーカーとは

☞エコウォーカーは、ウォーキングしながら行う、身近で気軽に自由な清掃活動です。

◆活動

☞それぞれが自由な時間・タイミングで、気軽にウォーキング&ごみ拾いへGO!!

☞収集が困難な不法投棄や大量のごみを発見したときは、環境政策課へ通報!!

◆応募方法

☞応募用紙を、亀岡市役所環境政策課へ!!

※FAX、メール可

(22-3809/kankyo-soumu@city.kameoka.lg.jp)



[詳細・応募用紙はこちら](#)



問：環境政策課 ☎25-5024



■保育所、幼稚園の年長児を対象に、清潔で快適なまちづくりへの想いを醸成し、将来にわたり環境を守り育てる意識の芽生えに導く。（2021年度は、市内1保育所で実施。2022年度以降に市内全保育所、幼稚園に拡大予定）

活動内容

- STEP 1 散歩をしながらごみ拾い
- STEP 2 拾ったごみを分別・調査
- STEP 3 調査結果を亀岡市に報告

～更なる展開へ～

- ・子供たちの活動を通じ、家族や地域に「エコウォーカー」が拡大
- ・卒園時に次の世代へバトンタッチ。
『想い』『意識』を継承



プログラム参加者には、
ごみ拾い用のトンゴと
チャレンジユニフォーム
を提供



「環境」を軸とした「ブランド力」の向上と「シビックプライド」の醸成



2020年度SDGs未来都市 自治体SDGsモデル事業に選定 かめおか霧の芸術祭 × X (かけるエックス)

地域経済循環率が低い

日帰り客の消費が低迷

生産年齢人口が減少

耕作放棄地率が増加

プラスチックが問題化

地方創生☆政策アイデアコンテスト2019 最優秀賞
かめおか霧の芸術祭

経済

- アートマーケット
- まちなかプロジェクト
- KAMEOKA FLY BAG Project
- Harvest Journey Kameoka

地場産品や体験を市内外の客に販売するマーケット/導線の育成

社会

- やおやおや
- ダーチャ
- 地域ブランド農産物認定制度
- 知の共有
KIRI WISDOM
KIRI? 芸術大学
小学校教育プロジェクト

交流の接点づくりとブランド化による新陳代謝のある農業コミュニティの実現

環境

- プラごみゼロ具体化事業
マイボトル普及施策
レジ袋禁止条例の施行
ポイ捨て抑止と清掃活動
- ロゴマークを活用した情報発信
- シンポジウム

市民一人ひとりに伝わるプラごみゼロ施策の実行と発信



消費や投資の呼び込み

体験型観光の定着

イノベーションの創発

コミュニティの新陳代謝

環境先進都市の実現

市民が社会的につながり商業・投資・イノベーションが活発な都市

農業や自然とともに暮らす都市

ごみを極力出さない社会

2030年のあるべき姿



亀岡市役所地下1階に『開かれたアトリエ』をオープン！！（2021年4月14日）

京都芸術大学と協働して、地下レストランを分野横断的に人々が交流できる多機能空間にリニューアル

- ▶年に数回テーマを変えながらの展覧会や、KIRI²芸術大学等のワークショップ、オンライン配信、亀岡産野菜の販売なども順次実施
- ▶図書コーナー、フリーWi-Fi完備
- ▶レストランは『ATLR CAFÉ（アトリエカフェ）』としてリニューアル！
- ▶亀岡牛や亀岡産野菜を使った多彩なメニューを提供
- ▶テイクアウト用カップにはサトウキビを使った素材を使用するなど、環境にも配慮



- 飲食しない人も自由に利用可能
- 利用料 無料
- 時間 9：00～17：00
- 土日祝も利用可（年末年始を除く）
- カフェは平日のみ営業

